

2025 年度（令和 7 年度）

後 期 日 程

小 論 文 （40 分）

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に志望コース名及び受験番号を記入しなさい。
- 3 解答用紙の※を付した欄には、何も記入してはいけません。
- 4 解答は、小論文解答用紙を用い、400 字以上 500 字以内にまとめなさい。
- 5 選択解答する課題の番号を解答用紙の選択課題番号欄に必ず記入すること。

（例）

選択課題番号
1

- 6 解答は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
 - 1) 解答は横書きで、文字はていねいに、はっきり書くこと。
 - 2) 句読点は、1 字として 1 マスに入れること。
 - 3) ローマ字、数字を使用するときは、マス目にとらわれなくてよい。
 - 4) 改行はしないこと。
- 7 下書き用紙は回収するが、採点は解答用紙のみで行う。
- 8 試験終了後、この問題冊子は持ち帰りなさい。

小論文課題

次の3つの課題から1つを選択して解答すること。

- (1) 電気自動車 (EV) は、地球環境にやさしい自動車として世界中で開発が進められている。しかし最近では、内燃機関と電気モーターを併用するハイブリッド自動車が見直されている結果、EV の販売台数が伸び悩んでいる。なぜ、EV の利用が拡大しにくいのであろうか。あなたが考える最も大きな要因とその理由について論述しなさい。
- (2) ディープフェイク技術 (生成 AI を用いて特定の人物の動画や音声を人工的に合成する技術) は、創造性を拡張する可能性がある一方で、フェイクニュースの拡散や誹謗中傷、詐欺などの犯罪行為に利用されるリスクがある。また、ディープフェイク生成のために利用されるデータが本人の同意を得ていない場合、肖像権の侵害やプライバシーの問題が発生する。このようなディープフェイク技術のリスクを軽減し、安全に活用するには、今後どのような対策が必要か、技術的な観点および社会的な観点の両方から論述しなさい。
- (3) 神社仏閣のような日本の伝統建築物の持続可能な管理運営などに、今後導入した方がよいと考えられる最新のテクノロジーは何か。古来の伝統と科学技術との関係をふまえて、あなたの考えを論述しなさい。